

# Android向けアプリケーション開発もモデルベースで!

## Project Android 始動!

**ZIPC**  
CASE Tool for Embedded Systems



Androidは組み込み機器向けのプラットフォームとして大きく注目されています。

キャッツは Android向けのアプリケーション開発の**高品質・高生産性**を実現させるため、ZIPCをグレードアップします!



家電・情報家電

セットトップボックス

車載機器



FA機器



オフィス機器



ゲーム



デジタルサイネージ

スマートフォン  
ビジネスフォン



医療機器



**ZIPC + Androidがあなたの業務を強力に支援!**

設計

実装

テスト

状態遷移表によるモレ・ヌケのない設計・テスト

自動コード生成  
(JAVA)

実機によるテスト

### Androidを利用するメリット

タッチパネル、ポインティングデバイス、ネットワーク、マルチメディアといったデバイスを活用したサービスを容易に構築することができ共通プラットフォームとして様々なサービスを共有することができる

**デモンストレーション実施中!**



お気軽にお声をおかけください!

本資料のデザインはGoogle が作成し提供しているコンテンツをベースに変更したもので、クリエイティブ コモンズの表示 2.5 ライセンスに記載の条件に従って使用しています。「Android」は、Google Inc.の登録商標です。

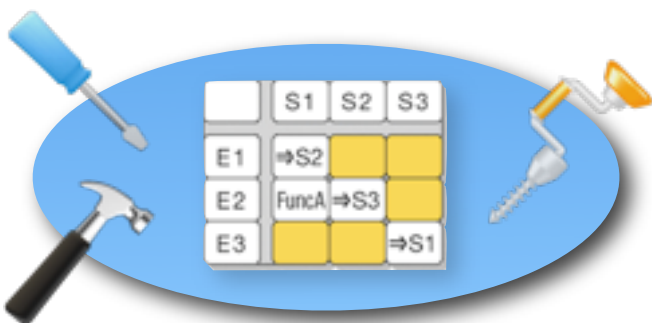
## 続々と登場するAndroid端末

近い将来発売されるAndroid携帯の数を合計すると、50機種に上ると言われています。また、今後は携帯電話以外への搭載が注目されており、カーナビなどの車載機器、コピー機などのオフィス機器、セットトップボックスや医療機器への搭載が期待されています。

一方、企業は市場獲得を優位に進める為、「良いもの」を「何処よりも早く」提供し続ける必要があります。ソフトウェア開発行程の見直しが重要視されています。本課題に対し、キッツはAndroidアプリケーション開発にZIPCを適用する事を提案します。組み込みソフトウェアの設計ツールとして成長してきたZIPCを活用し、Androidをターゲットとした新しい開発手法をぜひ、体験してみてください。



Androidの時代が到来



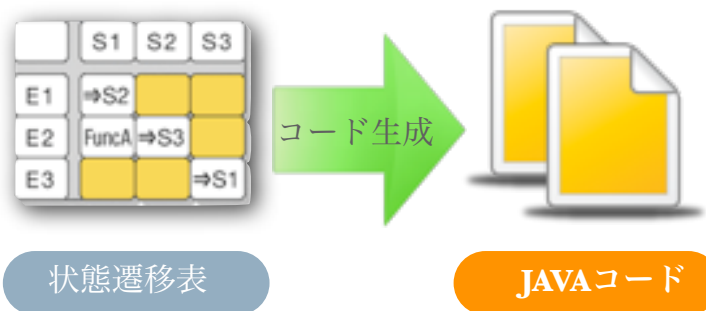
ZIPC for Androidを用いた状態遷移表設計

## 仕様変更による工数増加・品質劣化を防止

ZIPC for Androidの最大の特徴は、設計した状態遷移表からJAVAソースコードを生成出来るという点にあります。従来のような、コードと設計書を別々に修正することによる工数増加や、設計書とコードの不一致による品質劣化を防ぐことができます。各種センサを利用するアプリやゲームなど、仕様変更が頻繁に発生するアプリケーション開発に非常に有効な機能です。

## モデルは企業の資産である

様々な注目を集めているAndroidですが、大規模なアプリケーションになるとその構成は複雑になりがちです。状態遷移表で設計することで、Androidアプリケーションをモレ・ヌケ無く設計することができるようになります。また、状態遷移表は仕様書や設計書として扱う事ができる為、プラットフォームが変更されても流用することができます。すなわち、資産として残す事が可能となるのです。



状態遷移表からJAVAコードを生成



ZIPC for Androidと仮想環境の連携によるデバッグ

## 視覚的+効率的なデバッグの実現

これまでのデバッグは、ブレークポイントや変数ウォッチを利用した手法が一般的でした。しかし、これらの機能はオーバーフロー等の「コード上の不具合」の特定には適していますが、仕様の不具合を特定するには適していません。ZIPCではアプリ実行中の状態を、状態遷移表を使って光らせることができ、「実機の画面に表示されない仕様」のデバッグを効率良く行う事ができます。もちろん、ZIPC for Androidはエミュレータだけでなく実機と連携させることも可能です。

A20091105

## キッツ株式会社

〒220-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-11-5 川浅ビル

TEL:045-473-2816 FAX:045-473-2673

http://www.zipc.com/

Email: info@zipc.com

## ZIPC for Android お問い合わせ

ご意見・ご要望をお待ちしております。お気軽にご相談下さい。

URL : <http://www.zipc.com/support/rre>

\*本資料の内容は予告無しに変更する場合があります

\*本誌料に記載された社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

\*Droid Robotのデザインは、Googleが差提供しているコンテンツを複製したもので、クリエイティブ・コモンズ2.5ライセンスに記載の条件に従って使用しています。